

当教員名】 小林量作 相馬俊雄	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

<一般目標：G I O>

障害を正確に認識する手段として検査測定及び評価は、理学療法を進める上で重要なプロセスである。つまり理学療法評価は、患者の総合的な情報収集であり、正確な検査測定・評価を通じて、はじめて適切な目標設定と治療プログラムが導かれる。本授業では、検査測定評価学の基礎的な知識を学習し、必要に応じて実習を行う。

目標：S B O>

1. 評価の概要（目的、過程、対象など）について理解する。
2. 評価記録の方法、病歴聴取について理解する。
3. 各種評価法について学習し基本技術を習得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SB0	
		番号	学習方法・担当教員
1	評価とは（目的、過程、対象）	1	小林
2	病歴の取り方	2	小林
3	評価記録の方法	2	小林
4	身体計測	3	小林、相馬
5	〃	3	小林、相馬
6	感覚検査・反射検査・脳神経検査	3	小林、相馬
7	〃	3	小林、相馬
8	〃	3	小林、相馬
9	協調性検査	3	小林、相馬
10	〃	3	小林、相馬
11	筋緊張検査	3	小林、相馬
12	〃	3	小林、相馬
13	関節可動域検査（総論）	3	小林、相馬
14	筋力検査（総論）	3	小林
		3	小林

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞	
教科書	理学療法評価学	松沢 正著	金原出版	1998年	6200円
	新・徒手筋力検査法（Muscle Testin 6th）	津山直一訳	協同医書出版	1996年	6695円
	ベッドサイドの神経の診方	田崎義昭・他著	南山堂	1994年	7200円
参考書	Muscle Testing and Function(4th)	F.P Kendal Williams & Wilkins		1993年	10658円
	理学療法評価学	内山 靖編	医学書院	2001年	5800円
その他の資料	0683045768				

評価方法】

出席、レポート、期末試験

【履修上の留意点】

実技できるような服装で出席すること（4回～12回）